

ユニバーサルデザインDTPのご案内

明昌堂のカラーユニバーサルデザインは、
視覚障害者にも健常者にも、情報をわかりやすく、
かつ美しく伝えることができる、バリアフリー・メディアです。

■カラーユニバーサルデザインとは

障害の有無などを問わず、できるだけ多く人が使えるよう工夫された製品設計をユニバーサルデザインといいます。現在、色覚に障害を持った方が国内に320万人以上いると言われていますが、これらの方が一般の人と同じように商品やサービスを利用できるように考えられた紙面設計を、特にカラーユニバーサルデザインといいます。

■明昌堂での研究活動

明昌堂では、2008年7月からカラーユニバーサルデザインの研究を始めています。シミュレーションソフトを使って色覚障害者の色の見え方を擬似的に確認し、紙面デザインにおける最適な配色について検討してきました。シミュレーションでは、P型強度・P型弱度・D型強度・D型弱度の4タイプに、一般色覚のC型を加えた、5タイプの色覚を検証しています。

文字や色の使い方に配慮することで、情報の読み取りやすさだけでなく、一般色覚者、色覚障害者の両者にとって美しく感じられるデザインバランスになるよう心掛けています。

現在、各フォントメーカーから数多くのユニバーサルデザイン (UD) フォントが発売されています。これらは「読みやすく」「読み間違いにくい」という観

点のもとデザインされているフォントです。明昌堂では主にモリサワ、イワタのフォントを積極的に導入しています。読みやすいフォントと、明昌堂の組版技術を駆使した読みやすいデザインを組み合わせることにより、さらなる読みやすさを追求しています。

それらの研究成果の一つとして、全日本印刷工業組合連合会主催の第3回メディア・ユニバーサルデザインコンペティションにおいて、明昌堂が出品した作品が準グランプリに選ばれました。この作品については裏面でご紹介しています。

■カラーユニバーサルデザインの活用性

近年、公共性の高いサービスにおいて、そのバリアフリー化が重要な課題となっています。そのため、ユニバーサルデザインの考え方は大変注目されており、ここ数年で特に官公庁からの需要が高まっています。先のメディア・ユニバーサルデザインコンペティションにおいても、入賞作品の多くが公共性の高いものを題材として扱っています。また今後は、教科書や参考書、そのほか様々な教材など、教育の分野でのユニバーサルデザインの活用が見込まれています。

カラーユニバーサルデザインについて、ご質問、ご相談などありましたら、是非明昌堂へお問い合わせください。

明昌堂所有のUDフォント一覧

モリサワ	
UD黎ミンR	あの日夢見た、文字というビジョン
UD黎ミンM	あの日夢見た、文字というビジョン
UD黎ミンB	あの日夢見た、文字というビジョン
UD新ゴL	あの日夢見た、文字というビジョン
UD新ゴR	あの日夢見た、文字というビジョン
UD新ゴM	あの日夢見た、文字というビジョン
UD新ゴDB	あの日夢見た、文字というビジョン
UD新ゴB	あの日夢見た、文字というビジョン
UD新ゴH	あの日夢見た、文字というビジョン
UD新ゴNT L	あの日夢見た、文字というビジョン
UD新ゴNT R	あの日夢見た、文字というビジョン
UD新ゴNT M	あの日夢見た、文字というビジョン
UD新ゴNT DB	あの日夢見た、文字というビジョン
UD新ゴNT B	あの日夢見た、文字というビジョン
UD新ゴNT H	あの日夢見た、文字というビジョン

UD新丸ゴL	あの日夢見た、文字というビジョン
UD新丸ゴR	あの日夢見た、文字というビジョン
UD新丸ゴM	あの日夢見た、文字というビジョン
UD新丸ゴDB	あの日夢見た、文字というビジョン
UD新丸ゴB	あの日夢見た、文字というビジョン
UD新丸ゴH	あの日夢見た、文字というビジョン
イワタ	
UDゴシックL	あの日夢見た、文字というビジョン
UDゴシックR	あの日夢見た、文字というビジョン
UDゴシックM	あの日夢見た、文字というビジョン
UDゴシックB	あの日夢見た、文字というビジョン
UDゴシックE	あの日夢見た、文字というビジョン
UD丸ゴシックM	あの日夢見た、文字というビジョン
UD丸ゴシックB	あの日夢見た、文字というビジョン
UD明朝R	あの日夢見た、文字というビジョン
UD明朝RかなA	あの日夢見た、文字というビジョン

第3回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション 準グランプリ入賞作品のご紹介

実際の作品



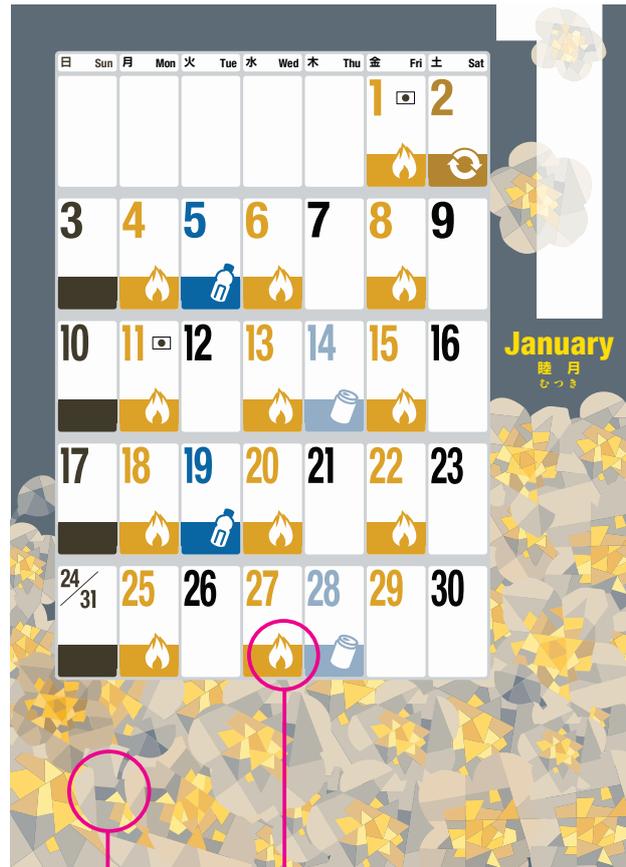
季節に合ったモザイク模様を配し見た目を美しく

色分けだけでなくアイコンを用いることで、瞬時にゴミの種類を判別できます

予定のメモなどを書き込むスペースを確保。実用面も考慮しています

色覚障害者シミュレーション

色覚障害者にはこのように見えています (一例: P型)



同系色の模様でもモザイク模様で色の境目が生まれ、色弱者でもアートを楽しめます

色覚障害者でも色の違いを判別できるように配色には十分に配慮

「見た目を美しく、そして実用面も損なわない、そんなごみ分別カレンダーを作りたい」というコンセプトからこの作品作りが始まりました。ごみ分別カレンダーといえば、大判ポスターで色とりどりの派手なデザインのもの一般的ですが、人目に付かない所に貼られてしまっていることも多いようです。そこで、A4二つ折りの手頃なサイズとし、玉の外側部分のデザインもモザイク模

様を基調とした、普段使いのカレンダーとして違和感ないものにしました。分別ゴミの種類には、色分けだけでなくアイコンを採用。色覚障害者でも判別できるようにしています。配色に関してはシミュレーションソフトを使って十分に検討し、どのような色覚の人にも、分かりやすくまた美しく感じられるように配慮しています。